

対象 レーザマーカ	MX-Z2000H シリーズ取付用	MX-Z2000H, MX-Z2050H, MX-Z2055
-----------	----------------------	--------------------------------

No.	レーザマーカ取付用 アタッチメント取付部品	型番	数量
①	COVER	PU-PKUL-LM01	1
②	BOX		1
③	六角穴付きボルト	CB5-35	2
④	六角穴付きボルト	CB5-22	4

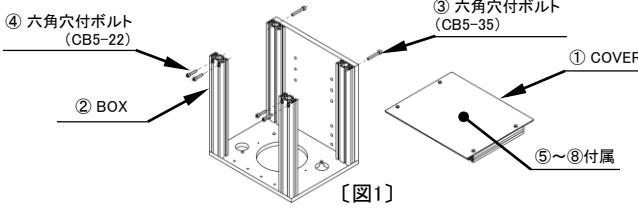
※③、④は②部品に仮締めとテープの貼付け

No.	レーザマーカ取付用 アタッチメント付属部品	型番	数量
⑤	位置決めピン(Φ3.85) おねじ	AJPNGC3-P3.85-B2.5-R1	2
⑥	位置決めピン(Φ6) 压入	APEC5-P6-L9-B5.8-R1	4
⑦	六角穴付きボルト	CB6-20	8
⑧	六角穴付きボルト	CB6-10	4

※⑤、⑥は組立補助用位置決めピンオプション(LP)を選択した場合のみ適用

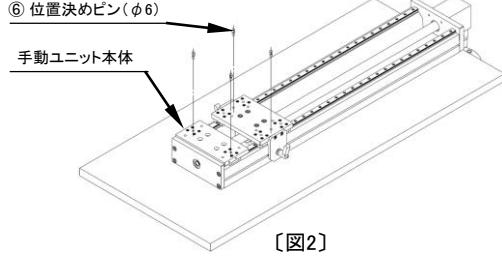
※⑤、⑥、⑦、⑧は①部品にテープで貼付け

## 1. 仮締め部品の分解(図1参照)



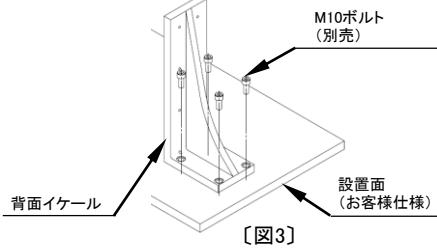
- 1-1 ①にテープで貼付けられている⑤～⑧を取り外します
  - 1-2 ②に仮締めされているM5ボルト③、④を②から取り外します
- ※仮締めの目印としてテープが貼られています

## 2. 位置決めピンの圧入(図2参照)



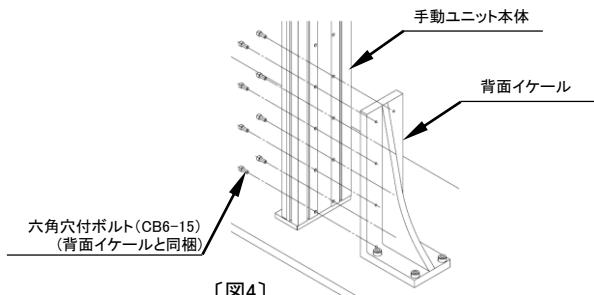
- 2-1 手動ユニット本体を水平に置き、⑥を圧入します。

## 3. 背面イケールの取付(図3参照)



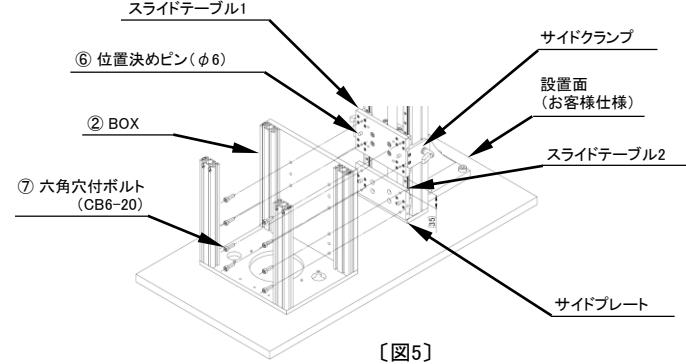
- 3-1 背面イケールを水平な設置面に置き、M10ボルトで締付けます。  
※設置面はお客様にてご準備ください。  
※背面イケールを使用しない場合は、手順4へ進みます。

## 4. 手動ユニット本体の取付(図4参照)



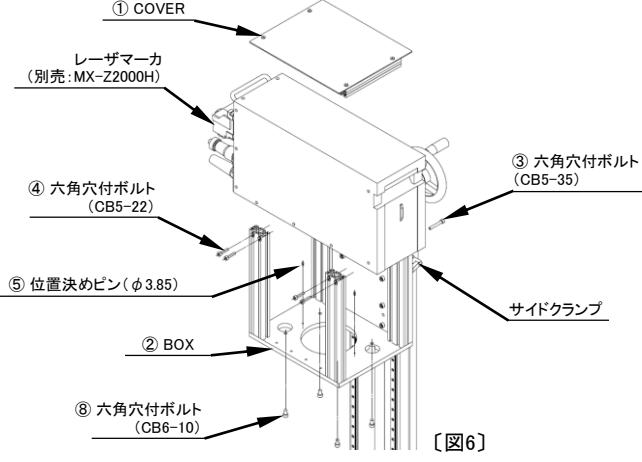
- 4-1 背面イケールを手動ユニット背面にあて、M6ボルトで締付けます。  
※背面イケールを使用しない場合は、垂直な設置面に手動ユニット背面をあて、M6ボルトで締付けます。

## 5. レーザマーカ取付用アタッチメント(BOX)取付(図5参照)



- 5-1 スライドテーブル2をサイドプレートに接触するまで下げます。  
※スライドテーブル2は自重で落下しますので取扱いにご注意下さい。
- 5-2 スライドテーブル1と2の間隔が約35mmになる位置に調整します。
- 5-3 ②を設置面上に置きます。
- 5-4 ハンドルでスライドテーブル1の高さを調整しながら、②を取り付けます。  
※⑥を利用する場合は、誘い込みながら取付けます。
- 5-5 ⑦で締付けます。

## 6. レーザマーカの取付(図6参照)



※図6はケーブルを向かって左側にして取付けた場合の図になります  
※レーザマーカは左右反転しても取付可能な構造になっています

- 6-1 ②を適切な高さまで上昇させた後、サイドクランプを締めます。
- 6-2 ⑤を②に取付けます。
- 6-3 レーザマーカを②に載せます。  
※⑤を利用する場合は、誘い込みながら取付けます。
- 6-4 ⑧で締付けます。
- 6-5 ①を②に取り付け、「1-2」で外したM5ボルト③、④で締付けます。

### ■ 注意事項

- ・レーザマーカー取付時はレーザ出射口に傷をつけないようにご注意ください。
- ・レーザマーカー本体の仕様、取り扱い方法、マーキング品質、レーザーに関する安全衛生に関してはレーザマーカー販売元の取扱説明書(仕様書、マニュアル等)をご確認ください。